



ジュニアボランティア体験講座



2018(平成30)年度「木もれびの森を知り、親しみ、守っていこう」

第2回【セミの羽化観察】

日時 2018(平成30)年8月5日(日) 18:30~20:30

場所 大野台公民館に集合。勉強のあと、木もれびの森に行きました。

15人のお友達が集まりました。それに保護者のみなさんと、40人ぐらいの観察会になりました。



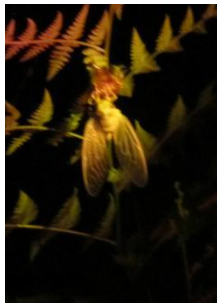
セミ・蟬ってどんな虫？ ①セミの顔はどんな感じ？ ②口の形はどうなっている？ ③何を食べているの？ ④鳴くのは誰？ ⑤目はいくつある？ ⑥どのようにして鳴くの？

セミの仲間は アブラゼミ、ミンミンゼミ、ヒグラシ、ツクツクボウシ、ニイニイゼミなどがいます。クマゼミやハルゼミもいるかもしれません。セミの一生は、まだ分からないことがたくさんあります。みなさんも研究してみませんか？



セミを見る・観察するときは

木を登って意外と高いところまで行くの也有ります。だいたい、小学生1年生の皆さんの目の前あたりにいることが多いです。草の葉の裏にしっかりとくっついていることがあります。ライトには、赤いセロハンをつけますよ。刺激を与えないように。さわらないように、カメラはフラッシュ撮影はおやめください。



羽化(うか)？ セミは、土から出てきて木とか草を登り、羽化するまでに90分ぐらいかかります。しっかりと爪を立てたら、背中から白い成虫がでてきます。アブラゼミの羽は青色、ミンミンゼミは、白色です。すっかり羽が伸びても、まだまだ終わりではありません。朝までかかって、やっと体ができます。



振り返り(参加された方の感想・まとめです)

参加者・保護者のみなさんが羽化を観察できました。きれいだった。白い羽がおもしろかった。イナバウワーのような逆さぶりをみられた。触るのがやだったけど、触ってみたいになりました。感動的でした。

次回のジュニアボランティア体験講座は、11月17日(土) 9:20~12:00「間伐体験と木工クラフト作り」

申し込み先：大野台公民館へ、集合はイヌシデ広場で。お家の人からOKがでたら 042-755-6000 に電話を。主催：大野台地区青少年健全育成協議会 木をきりましょう。森のもので飾りを作ります。